

家族のために信託という選択肢

コロナ禍でペットブームが話題となって早数年。一般社団法人ペットフード協会によると、2022年の新規飼育頭数（推計）は犬が42万6千頭、猫は43万2千頭、今やペット産業による経済効果は2兆円近くに膨れ上がっているとされています。一方で保護団体などには面倒をみきれなくなった飼い主からの相談が増えています。「思ったより懐かないから」「お金がかかるから」といった身勝手な理由も多く、保健所や保護団体を無料で引き取ってくれる施設と勘違いする人もおり、全国各地で大きな問題となっています。一方で止むを得ない形で…飼い主が病気や高齢になったことによって飼うのが難しくなったケースが年々増えていることも、またペットブームの課題として注目されています。

ペットは大切な家族の一員です。どんな事情があっても一緒に生活し共に人生を歩んでいきたいものです。しかし飼い主も人間ですのでペットより先に死んでしまうこと、高齢や病気で面倒を見ることができなくなってしまうことは考えられます。そんな中ペットを不幸にしない備えの一つとして生まれた「ペット信託」という制度をご存知でしょうか。「ペット信託」とは簡単に言えば自分（飼い主）になにかあった時に大切なペット（家族）のお世話を誰かに「託す」ことができる制度です。

色々な施設でアニマルセラピーというものが導入されているように犬や猫と触れ合う、飼うことで認知症を抑制したり、心が穏やかになったりする効果が認められています。古代ローマ時代には既に負傷した兵士のリハビリに馬を用いたアニマルセラピーが行われていたとか。動物との触れ合いには私達人間に癒やしや活力を与えてくれるからこそ家族の一員として迎え入れる時には自分の健康、経済力、そして万が一の時まで備えることが必要です。「ペット信託」は、まだ出来て間もない制度ですが今後どんどん活用されていきそうですね。



鎌野

大地震

このところ、大きめの地震が頻発していますが、日本だけでなく、環太平洋プレート、フィリピン海プレートの境界線上での地震が多数起きています。元々、その境界ではプレートの沈み込み帯や離れが起きているので、地震の巣の様なものなのですが、活発化していることは間違いありません。

我々の住む静岡県は、地球の4つの大きなプレートが交わる場所のすぐ近くにあり、東南海地震が30年以内に来る確率は80%ぐらい、東海地震は30年以内に来る確率が88%にまで跳ね上がっています。もういつ来てもおかしくないと言われて、何十年も経っていますね。

逆に、静岡県ではこのところ、大きめの地震が少ないのも不気味です。備えあれば憂いなし。地震が来るのは防げませんが、非常食や非常時の備えをしておくことは、とても重要です。私もベッドの横に非常用の靴を置こうと思っています。自然の力には、人間は勝てませんよね。人間だって自然の一部なのだから。

英樹



配り

第
288
便

勝亦製材駿河鉄骨株

住まい塾御殿場教室

TEL (0550) 87-0048

FAX (0550) 87-1237

〒412-0035 御殿場市中山518番地

足元の薄ら氷にポトリ落椿真紅映るひ寒きゆるめる
ねがみともみ



主人逝き五年と経ちては気ままなる一人暮らしは早寝早起き
林 なをみ



大雨あがりし朝つややかに映える舗装路るん行きき
勝亦 りつ子



大興奮でした

5月の中旬に富士スピードウェイで開催されている24時間耐久レースのチラシが入っていた。御殿場市民小山町民は入場料無料ですよー、と。国内で24時間耐久は現在ここだけの開催なんだそうです。4輪のモータースポーツは今まであまり観戦してきませんでしたが、本格的にカメラをはじめて被写体としてのレーシングカーに興味を湧いてきました。僕が勝手にカメラの師匠と崇めるKさんが毎年撮影に行っており、今年も参加するとの事で、折角無料ならばと同行させてもらいました。

写真のテクニックの一つに「流し撮り」というものがあります。動いている被写体に合わせてカメラも動かしながら撮影するのです。するとメインの被写体は固定されて写るのですが、背景は流れるような臨場感が現れるのです。これを夜間の照明をバックにレーシングマシンで撮影するのが今回のテーマ。

まずはシャッタースピード1/15秒から。走ってくる車に合わせて左から右へとカメラを動かす。車と同じ速さで車の動く方向に合わせて。暫くやれば1/15秒は難なくクリア。1/10秒ではやや苦戦、とにかく体を固定しつつ体幹がブレないようにカメラを振りまくる。なんせ24時間耐久ですから次から次へと車が来るので練習には事欠かないのです。もうこうなると特訓状態です、1000枚ほどシャッターを切る頃には数十枚に1枚くらいはバッチリ撮れているようになりました。そして1/5秒。これはもうプロの世界。シャッタースピードが遅ければ遅いほど背景の光跡の流れ方が長く綺麗になるのですが、このシャッタースピードだと被写体も背景もブレてしまう、結局全部で2000枚以上撮影しましたが、1/5秒は納得いくものは撮れずでした。悔しいなあ、これはハマっちゃうなあ。生のレーシングカーの迫力も体感出来て大興奮でした。来年またリベンジです。

柳田 敏和



そうだ京都、行こう

コロナが感染症5類となり、GWに京都へ行ってきました。もう何回目でしょうか？平日を跨いだことありますが、テレビの映像のような人で溢れている感じはあまりなかったです。コロナになる前に（いつか忘れました）訪れた時の京都駅は、まさに人の波が荒くれている感じでヨーロッパ系の方が多かった印象があります。今回はそれほどの人の波ではなかったですが、相変わらず外国の方が多くリュックサックを背負って瞳をキラキラさせながら行き交っていました。瞳のキラキラと満面の笑顔を見ているだけでも、なんかこちらも自然と口角が上がります。

京都駅には大階段がありまして、そこに座って京都駅で日がな一日いても飽きないなあ。と、日常の生活であまり多くの人をみない私は、これで旅行終わりでもいいなと・・・まあせっかく京都まで来たのですからと、京都御所、下鴨神社など観光しましたが、ほとんど外国人でした。八坂神社界限などは大勢の人が予想されるので、避けて、なるべくゆっくりと・・・鴨川の縁で座っていると、アオサギが獲物をずっと狙って動かず、人がゆっくり歩いたり、座っておしゃべりをしたりしている人々の光景は『平和だ』。一度は一人で京都へ行って鴨川の縁で一日、川の音を聞きながら人の往来をみていたいなあ。と思っているのですが、と、誰かに言ったら『病んでるね』と（笑）川がよければ狩野川でもいいんじゃないか！

いやいや、狩野川で一日ぼお～と動かないでいたら、それこそ『この人病んでる』って思われる。新幹線の“ひかり”ではなく“こだま”に乗って！鴨川へ。がいいんだよ！と。

でもまあよ、方向音痴の私は京都駅から鴨川上流へ行けるだろうか・・・まっ、どうにかなるか。

ねがみ

柏餅



先日、若いお母さんたちとその子どもたちと柏餅を作る機会がありました。子供も一緒に作るので、できるだけ簡単な工程を考え、蒸し器をやめ電子レンジで作る方法を教えました。熱くて危ないところはお母さんがやるように注意しましたが、親子で協力して行うことが出来ました。出来上がったお餅を一つずつ試食し残りはお土産としてお持ち帰りいただきました。

お母さんたちの様子を見るとあまり作ったことが無いようでした。今は、柏餅もおはぎも月見団子もスーパーで買えるので作らなくても済んでしまうのですね。子供の頃、季節の行事のものを作るお手伝いをしましたが貴重な体験だったのかもしれませんが。年末に親戚が集まって餅つきやそば打ちをしましたがとても楽しかったなと今でもふと思い出します。

祥子